

(1) 富岡地区ところワゴンの本格運行について

1 利用者数の推移

令和7年1月	2月	3月	4月	5月	6月
2,421人	2,404人	2,782人	2,768人	2,716人	2,872人

2 利用状況の特徴

ネオポリス、向陽ハイツ、並木通り団地、所沢ニュータウン（中新井）など、高齢者が多い住宅団地に大きな需要がある。

後続便が多く発生しているため、ところワゴンの利用を諦めている「潜在的需要」が存在していると考えられる。

3 後続便の発生状況（令和6年10月～令和7年6月）

①ネオポリスルート

44回中33回が、第3便（午前10時台）と第4便（12時台）で発生。
ネオポリスや、ラーク所沢で発生しやすい。

②北岩岡ルート

61回中39回が、第1便（午前9時台）で発生。
ネオポリスで定員になり、その後、新所沢駅に向かう途中で発生しやすい。

③多聞院ルート

39回中30回が、第1便（午前8時台）で発生。
並木通り団地で定員になり、その後、新所沢駅に向かう途中で発生しやすい。

4 本格運行の方向性

- ・後続便になることを抑えるため、需要に合わせて2台体制から **3台体制に変更**
- ・需要を分散するルート案（資料1-2）

令和7年6月25日、富岡地区地域づくり協議会との意見交換会により、方向性を確認済み